

参加者募集中！（申込期限：2024年6月末予定）

愛知県でお米を栽培しているアグリノートユーザーのみなさま

あなたの**環境配慮**をPRしてみませんか？

PRのイメージ↓

環境配慮の情報などを掲載したPR用webページが開く二次元コード付きのシールを商品に貼付して販売



営農支援アプリ「アグリノート」を運営するウォーターセルは、愛知県農業総合試験場とともに、「生産者の栽培状況やこだわりなどの情報をPRする有機米等の販売促進サービスの構築」に取り組んでいます。

これは、昨今注目されている温室効果ガスの排出量や生物多様性の保全度といった環境配慮の度合いを示す指標をアグリノートに保存されている栽培データに基づいて算出し、**いかに環境に配慮して栽培しているかを消費者にPRすることで販売促進につなげる**という取組です。

去年は、有限会社小久井農場（岡崎市）、服部農園有限会社（大口町）、株式会社中甲（豊田市）の3軒の生産者様に取り組んでいただき、温室効果ガスの削減や生物多様性の保全に興味がある、同価格帯ならばこうした表示のあるほうを選ぶ、といった消費者からの反応が得られました。

2024年は、その有効性や改善点などをさらに明確にするため、より多くの生産者に取り組んでいただきたく、この度、参加者を募集します。

ぜひお申し込み・お問い合わせをお願いいたします！

要点

Q. 参加に費用はかかるの？

A. 特別な費用はかかりません。

Q. 誰でも参加できるの？

A. 自社商品（自社で精米してパッケージ化するなど、自社名でブランド化しているコメ）を販売している生産者様が望ましいですが、そうではない場合もご相談ください。

Q. いつ何をすればいいの？

A. 収穫時期までは、通常通りアグリノートに栽培の記録をつけてください。10月ごろに、かんたんに使える新しいシステムを提供しますので、それを使って以下の取組をお願いします。（収穫が落ち着く時期からお取り組みいただく想定です。）

- ・アグリノートのデータに基づく、温室効果ガス排出量や生物多様性保全度の算出
- ・PR用webページの作成や商品貼付用シールの作成など
- ・それらを使った商品のPRと販売（2025年1月末までに1か月～程度）
- ・商品のPRと販売の実施後に、結果や感想の報告

Q. 昨年のPR用webページの例を見られる？

A. 下記をご覧ください。※服部農園様の例

<https://lp.agri-note.jp/aichipj/hattorinouen/hinohikari/index.html?qrcode=hattorinouen-hinohikari>

服部農園	特別栽培ヒノヒカリ（2023年産）	特別栽培ヒノヒカリ（2023年産）
 <p>はじめまして、服部農園と申します。 私達のスローガン「10年後、100年後、この町にこの景色を残したい」のもと大口町で米づくりをしている農家です。現在、約100ヘクタールを超える農地を耕作しておりますが、その耕作地のほとんどを地域の方にお借りしています。私たちは土地の恵みを頂いて、米づくりをしています。お借りした土地を盡かすまで次世代につなぐことが私たちの使命、地域へのお返しと考えています。そして、それを担う私たちも、農業を通して地域と関わり、地域と共に一人ひとりが成長する農園でありたい。地域の子どもたちが「農業もいいな」と思ってもらえるような農園づくりをしています。</p> <p>hattorinouen.com</p> <p>応援メッセージを送る</p> <p>この生産者の農産物</p> <ul style="list-style-type: none">● 特別栽培ヒノヒカリ（2023年産） <p>← 農産物のページに戻る</p>	<p>温室効果ガス排出・削減量</p> <p>★★★</p> <p>地域の慣行的な栽培に比べて温室効果ガス排出量を 15.4%削減しています</p> <p>削減の主な理由</p> <ul style="list-style-type: none">● 栽培期間中に農薬を使っていない● 化学肥料、有機質肥料を使っていない <p>温室効果ガス削減量内訳 (栽培面積10aあたり)</p> <p>農薬 削減割合 100.0% 0.0 kg-CO₂の排出 51.9 kg-CO₂の排出削減 農薬の製造などに伴って発生する温室効果ガスの削減割合を示しています。これは農薬の使用量を減らすことで削減できます。</p> <p>肥料 削減割合 100.0% 0.0 kg-CO₂の排出 39.8 kg-CO₂の排出削減 肥料の製造などに伴って発生する温室効果ガスの削減割合を示しています。これは肥料の使用量を減らすことで削減できます。</p>	<p>生物多様性保全度</p> <p>★★★</p> <p>水生昆虫種数（推定値）が 13.9 種です</p> <p>生き物が多い主な理由</p> <ul style="list-style-type: none">● 農薬を使っていない <p>確認された主な種</p>  <p>イトトンゴ類(ヤゴ)</p> <p>分類：トンゴ目 食性：肉食 レア度：A</p>

Q. 申込方法は？

A. 下記のGoogle Formでお申込みください。※申込期限：2024年6月末予定

<https://forms.gle/Zm6kcHFRaDW1rvMg9>

Q. 問い合わせ先は？

A. ウォーターセル株式会社（担当：関口）

電話：080-9973-1881 / 問い合わせフォーム：<https://agri-note.jp/form/contact/>

※本取組について愛知県に確認したいことがある場合は、愛知県農業総合試験場 技術開発研究室までお問い合わせください。（電話：0561-41-8964 担当：谷口）

補足・注意事項

Q. これは愛知県（県庁）の事業？

A. はい。これは愛知県の事業「あいち農業イノベーションプロジェクト」のテーマ6にあたるプロジェクトです。解決したい農業課題や目指す姿などの概要は、県のホームページをご覧ください。

<https://aichi-agri.jp/project/6-1>

Q. 参加するにはアグリノートを利用する必要がある？

A. はい。アグリノートに栽培履歴を記録している生産者が、できるだけ簡単に手間をかけることなく自身の環境配慮の取組などをPRできる仕組み（新しいシステム）を構築するという狙いがあるためです。

Q. 参加する場合、アグリノートのデータを県やウォーターセルに共有する必要がある？

A. はい。環境配慮の指標算出の元となるデータを確認したいため、アグリノートのデータの共有をお願いいたします。共有方法は、参加者のアグリノートに県やウォーターセルの担当者が代理でログインする方法を想定しています。（記録や設定情報の編集・削除ができない、閲覧のみの権限にてログインいたします。）

Q. 参加する場合、PR資材などは自分で用意する必要がある？

A. はい。商品のPRと販売に使うシールやチラシなどの資材は、原則として参加者側でご用意ください。なお、PR用のシールをご希望の場合、500枚まではウォーターセルにて提供いたします。

また、広報宣伝のためのSNSや、オンライン販売のためのECサイトなどを使用する場合も、参加者自身のものを使用してください。

Q. 参加する場合、販売場所は直売所でなくてもよい？

A. はい。この取組の中では、自社商品の販売場所について特別な指定はありません。ECサイトなどネットショップでの販売でも、量販店での販売でも構いません。ご不明な場合はご相談ください。

Q. 参加する場合、必ず商品にシールを貼らなければならない？

A. いいえ、シールを貼るかどうかはお任せします。シールやチラシ、PR用webページなどを使って、より効果的なPR方法を自由に工夫してみてください。

Q. 温室効果ガスの削減度や生物多様性の保全度は、どうやったら上がる？

A. 栽培時に使用する農薬の量を減らすことや、水管理の方法を工夫するなどの方法により、それぞれの評価が上がります。本件への参加者やお問い合わせいただいた方には別途ご説明いたします。

Q. コメの買取などはない？

A. はい。この取組の中では、特別な販路の提供や、生産物の買取は行いません。